

## B おもな海生哺乳動物化石

多くはクジラの骨化石ですが、カイギュウの頭骨や肩の骨、アシカ類の歯や腕の骨化石など、珍らしく貴重なものも発見されています。第6図には、そのうちの、おもなものの部分名と発見日を示しました。

次に、動物ごとに化石を説明します。

骨の部分	記号	発見日	骨の部分	記号	発見日
クジラの 椎骨	73 - A	1973・9・23	食肉類の 上腕骨	82 - I	1982・4・18
クジラの 肢骨	74 - A	1974・6・2	クジラの 椎骨	82 - K	1982・4・18
クジラの 椎骨	74 - B	1974・10・20	クジラの 椎骨	82 - M	1982・4・18
カイギュウ の肋骨	I	1981・5	食肉類の歯	82 - P	1982・8・13
カイギュウ の肩甲骨	80 - C - 1	1980・11・3	クジラの 下顎骨?	82 - R	1982・12・4
カイギュウ の胸椎	80 - C - 2	1980・11・3	クジラの 椎骨	82 - V	1982・12・16
カイギュウ の頭骨	82 - A	1982・4・18	食肉類 の上腕骨	82 - X	1982・12・16
カイギュウ の桡尺骨	82 - A	1982・4・18	食肉類 の上腕骨	83 - E	1983・3・7
カイギュウ の椎骨	82 - B	1982・4・18	クジラの 肋骨	83 - B	1983・10・14
クジラの 肋骨	82 - J	1982・4・18			

第6図 哺乳動物のおもな骨化石

### 1) クジラ化石について

クジラ化石が産出した地層は、塩坪層のおもに上部の砂岩層です。産出した部分は、第7図のようにクジラの背骨、肋骨などの化石です。これらは同じ地層から産出しましたが、互いに離れたところから見つかっていますので、必ずしも一頭のクジラのものとは言えません。しかし、いずれの骨化石も大きく、海綿組織が目立つなどクジラの特徴をもっています。